

妙智會

4月28日本部供養会
本殿大講堂（ライブ配信）
會長先生ご指導Vol. 164
2025. 5. 15
1/2

先日、フランシスコ教皇さまがご逝去されました。教皇さまとはご縁が深く、日本にいらっしゃったときには、私は3回お会いをさせて頂いてまして、当時の事を思い出しながら、今ご供養させて頂いております。フランシスコ教皇さまは簡素なお人柄で、貧者・弱者に寄り添い、平和を望まれた方でした。皆さまも、明日の朝のご供養のときに、教皇さまを思って、ご供養をして頂ければ幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、ゴールデンウィークに入りまして、いろいろなところに行かれるのではないかと思います。そういう思い出も大切にしないではいけなと、私も今になって思っております。皆さんご存知のように私は宮本家に長男として生まれ、家族での旅行は、数えて3回、4回ぐらいしかございません。また、先達の支部長さんのお宅は、宮本家と同様に、み教えを中心にして、あまり家族で旅行をしてなかったということも聞いています。本当に私どもの指導不足だったと思います。

ご先祖さまに対する供養というのは、お経をあげる、導きをするだけでなく、家族との思い出を作ること、私は大きな供養の一つかと思ひます。ぜひしっかりと受け止めて頂いて、このゴールデンウィーク期間中に、ご家族での思い出をたくさん作って頂きたいなと思ひます。

また、「お経を1日2回朝夕上げてください」と申しておりますが、例えば、1日2回上げなくては行けないという気持ちだけで

上げるのは、どうなのかということです。ご先祖さまや流産児さまを思って、因縁を思ってご供養する。1回でもいい、半分でもいいということではないんです。本当に心を込めて、朝夕の2回なのかということです。また、たくさん上げていけば幸せになるということでもありません。これも難しい話ですが、1日7回もお経を上げている方が順序がついてるかというと、ここがまた難しいところで、ついてますよとは私は胸張って言えません。

ご法名もしかりで、たくさん頂いた方が順序つくわけではありません。これも支部長さん方にお話して、だいぶ浸透してきましたが、皆さんは法名の数を気にしているのです。ご法名は、お経と一緒に、数ではありません。いつも事例で言いますけど、宮本家でのご法名は少なかったです。あとは、しっかり懺悔して、お経をあげなさいというのが宮本家でした。皆さんに原点に戻って修行して頂きたくて、「お導きをしない限りご法名はもうあげませんよ」と言いました。目を覚ましてもらいたいからそのような指導をいたしました。お導きもせず、お経もあげない方に、何でもかんでもご法名をつけても結果は出ません。原点に戻って皆さんに修行をお願いする次第です。

心をこめてお経を上げなければ、心を込めてお導きをしなければ、意味がないということです。数ではないということです。妙智のみ教え、會主さまの教えは本当に素晴らしい。だからこそ、その素晴らしい功德を全ての方に差し上げたいので、耳の痛いことを今日は申し上げました。私の心の奥をぜひ理解して頂いて、今日からまた、喜んで修行して頂きたい、このように思います。